



題字・天野貞祐

第89号

平成29年12月15日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1  
TEL／FAX 03(3946)6352(直通)  
獨協同窓会 発行責任者 浅野一  
編集責任者 柳原克忠

主な内容
平成29年度 通常総会・懇親会 報告 … 副会長 柳原克忠 … (1)
総会特別講演会報告 … 広報委員 濱村学夫 … (2)
ヨーロッパラム巡り第4回 Hiroshima … 会計委員 谷口有三 … (3)
獨協ぶらり旅 … 広報委員 谷田貝茂雄 … (4)
獨協祭参加報告 … 広報委員 沖山秀司 … (5)
獨協の底力 … 野球部監督・昭和61年卒 淀縄哲之 … (10)
クラス会だより … (11)
平成30年クラス会開催予定のお知らせ … (16)
私の近況 … (16)
寄付金納入者一覧 … (19)
物故者名簿 … (19)
90号へのご投稿をお待ちしています … (19)
協賛広告募集のご案内 … (20)
編集後記 … (20)

<http://www.dokkyo-mejiro.com>

独協同窓会

## 平成29年度 通常総会・懇親会 報告

副会長 柳原 克忠 (昭和39年卒)

### 通常総会

平成29年度通常総会は、6月17日(土)午後5時から、母校5階の小講堂で開催され約50名の会員が参集。木原幹事長の開会発声後、恒例に従い前年度のクラブ活動で大いに貢献した3名の生徒が紹介され、各々へ同窓会賞が、また、来賓挨拶を頂いた渡辺和雄校長に母校図書費への補助としての20万円が浅野会長から贈呈された。引き続き、今年度中にご逝去された会員に対して、哀悼の意を以て、黙祷が捧げられた。

総会は、議長を務める浅野会長の挨拶でスタート。主旨は、①会員皆様のご理解・ご協力により、懸案の財務体質強化への道筋がついてきたこと②まだまだ十分ではないが、「獨協通信」やホームページそして獨協祭などイベントを通じて、会員相互の交流が活性化してきたこと③それらの担当幹事各位が自主的に意識的に同窓会運営に取り組んでいただいたこと、さらに今後、このような幹事役を若い会員の方々がお引き受け下さることを期待していること④また、新たに「獨協通信」発行の費用負担の軽減のため、紙面上に同窓会への協賛広告を掲載する(20ペー

ジ参照)ことになったこと、反省点として⑤若い会員の方への働きかけが不十分であったために、総会や懇親会などへの参加者が少なくその対策が今後の課題の一つであること、結果として⑥同窓会としての強みを生かした魅力つくりが望まれる—など振り返りと会員各位の同窓会へのご支援に感謝する内容であった。審議に入り、浅野議長進行のもと各担当幹事により議案の提案主旨が説明され、平成28年度の事業報告と収支決算、平成29年度の事業計画と収支予算案、また浅野議長から幹事選出に関する会則の一部改正とそ



浅野会長(前列中央)を中心

れに伴う旧来の関係規則の廃止の件（88号3ページ第5号議案参照）が提案され、いずれもご理解をいただき異議なく、満場一致で了承され、閉会。

## 懇親会

総会終了後、懇親会が午後7時から椿山荘ギャラクシーの間で開催、総会出席の会員や今春卒業の新会員、母校教職員など約150名が出席。浅野会長からの総会出席の御礼と関係者への労いの挨拶があり、来賓の獨協中学・高等学校の渡辺和雄校長からの同窓会への謝辞の後、宮田顧問のスピーチと乾杯発声で和やかに宴がスタート。ほどなく、①中・高校生吹奏楽部の瀧瀬とした演奏の後、②女性の弦楽四重奏、その名も「ロールベール」の皆さんによるクラシックやポップス旋律に耳を傾けながら、歓談が盛り上がりま

した。その後、③今春卒業の同窓会新入会員がステージに上がり、進路指導の齋藤有子先生から紹介があり、盛大な拍手で歓迎されました。また、④今年の中・高等学校での教育実習生10名が紹介され、一人ひとりから、頼もしい「獨協教育」にかける意気込みや情熱が語られ、「頑張れ！」の声。つづいて、⑤4名の教員OBの方々から昔懐かしのお話の数々を披露していただきました。また、この日学内で現役卓球部生徒と親善試合をした、⑥卓球部OBメンバーが10数名出席、世話を人の佐藤眞人さん（昭和47年卒）から紹介があり拍手。最後に校歌で閉会。懇親会の参加者の増員のための有効な対策を新たな観点で進める必要性を改めて感じた次第。次回開催に向けて、会員各位のご意見・アイデアなど頂けましたら幸いです。



## 総会特別講演会報告

広報委員 濱村 学夫（昭和42年卒）

### セントラルバンキング（中央銀行） の世界とその課題

元日本銀行静岡支店長  
法政大学社会学部・大学院公共政策研究科教授  
田口博雄（昭和42年卒）

今年で3回目となる総会前の特別講演会は、法政大学大学院公共政策研究科教授田口博雄さんをお招きし、「セントラルバンキング（中央銀行）の世界とその課題」というテーマで講演して頂いた。



講演中の田口先生

毎日、身近で使っているお札、最近の安倍政権の最重要経済政策のアベノミクス政策で頻繁に取り上げられている「大胆な金融緩和」、「マイナス金利」などのニュースで「日本銀行」という存在は多くの国民が知っているが、日本銀行を含め、世界の「中央銀行」というのがどのような組織なのか、どのような機能なのか、その組織がどのような考え方を持った人々に運営されているのかとの知識を持っている、或いは深く考えたことのある方々は多くはないと思われる。今回の講演でセントラルバンキングの世界について、田口博雄さんが日本銀行時代

出向していた、「日本銀行」などの「中央銀行」の集まりである国際決済銀行（BIS）での経験をもとに講演をして頂いた。

また、マイナス金利政策などの日本銀行の政策や、日本銀行が直面する問題、課題についてもお話しして頂いた。講演内容が正にタイムリーな身近な問題なので興味深く聞かせて頂き、講演終了後も活発な質疑応答がなされた。また、当日は多くの田口博雄さんの同級生（昭和42卒）も聴講されていた。

## コラム・ドイツ

### ヨーロッパ トランム巡り 第4回

## Hiroshima

谷口 有三（昭和53年卒）



この会報が届く頃は今年もクリスマス装飾になっていると思うが、この電車238号は広島市内 横川駅～江波間を11～3月の日曜日・祝日期間限定で走る。「あれ、ヨーロッパトランム巡りで何で広島？」と思われてしまうが、独協通信のコラムらしく、今回は日本で見られるドイツの電車ということでお許しいただきたい。この全長11メートル2軸の電車はドイツハノーファーから1988年に姉妹都市の友好のシンボルとして広島市に贈られた。因みに広島市からは茶室一棟が贈られ、今も市民公園（Stadtpark）で「洗心亭」と名付けられ、現地の茶道会の茶会が行われていると聞く。さて、このプレゼント交換が計画されていた当時、私はドイツフランクフルトに駐在しておりこのプロジェクトに関わっていた知り合いからこんなファックスをもらった「広島としては古い市電を贈られても、保守も大変だし、せっかく頂けるなら新型のスマートなグリーンの3両連接車のほうが有難い、という現場の声を伝えて欲しい」というものだった。これに対して私は「日独友好の印であって経済協力ではない、ドイツ人は歴史遺産を大切にしており、お古の払い下げではなく価値ある車両だ、宝物だ。」と間をとりもつことなくきっぱりお断りしてしまった。しかし、あとで調べて知ったことだが、この電車は1950年に第2次大戦で被災した車輌の部品を利用して車体を新造したもので、復興車（Aufbauwagen）と呼ばれる戦火を生き抜いた歴史証人でもあった。あれから30年を経た今も大切にされ老体ながらも国際平和都市を元気に走っている姿をみると、こみ上げるものがある。因みにその11年後には、広島にドイツ製の30メートルを超える6車体5両連接車が12本も新車で輸入されグリーンムーバーという愛称で広島駅前と安芸の宮島を結んでいる。広島には他にも京都、大阪、神戸、北九州から移籍した路面電車が今も走って



おりこれらも併せて乗ってみたいところ。とりわけ私は修学旅行で京都市電をクラスメートと乗り回した世代なので、今も広島に行ったときは必ず色カタチそのままの1900型を待って乗って遠い日の獨協生時代に思いを馳せるのである。もし広島へお出での節はこの拙文を思い出してくださいたら光栄である。車両や路線の情報は広島電鉄のホームページをご参考にして頂きたい。次回、最終回「ドレスデンの人が乗れないトランム」をお楽しみに。



# 獨協ぶらり旅

広報委員 谷田貝 茂雄（昭和51年卒）

## 株式会社有我工業所

昭和63年卒業 有我栄蔵さん

今回は初めて製造業を突撃取材、向かった先は創業86年の（株）有我工業所、元々は塗装技術の会社であったが2代目、3代目社長は獨協で学びそのチャレンジ精神から常に積極的な新技術の設備投資を行い、高付加価値製品創りで事業を発展させてきた。3代目社長の有我栄蔵氏（昭和63年卒・右上写真）今話題の3D（3次元）プリンターで複雑な金属成型品製造に2年前から取り組む。樹脂造形の3Dプリンターと異なり設備も高価なことから金属の3D製品はまだ普及していないが、造形品質も高く強度も鋳物と同等レベルで大いなる技術革新である。産業界では小ロット化と複雑化が進む中にあって金型不要なこの新技術は益々重宝されるはずである。我々は現場にお邪魔して製造工程を見せて頂きながら獨協の思い出を伺った。獨協中学に入ったきっかけは、2代目社長・父君の有我昭蔵さん（34年卒・同窓会常任幹事）の影響を受けたからとのこと。主管は英語の小林先生であったが、強烈な印象は合田先生、神田先生、当時流行のポマードでビシッと決めた生徒たちをぐしゃぐしゃな姿に変えてしまったという上林先生の名前があがった。100周年を在学中に迎えられ素晴らしい体育館の竣工に立ち会えたことも記憶に残るという。高校時代、栄村先生の授業に影響され化学の道を進むべく東海大学でマスターを取得、その後商社に入ってからも化学製品を取り扱った。30代半ばで家業に入り40才で3代目に就任した。金属塗装の他の事業として液晶モニターの検査に使う照明装置を開発、これが時代の波に乗ったが、昨今の技術革新のスピードがあまり速く、テレビの地上デジタル放送の開始後は需要が急落することに。そこで、自社の強みである精細な設計技術を生かし、また金属加工ビジネスの取引先が多いことから高付加価値加工をこれから事業の柱に加えたとのこと。導入した3Dプリンターは国内ではまだ30台ほどしか導入されていないドイツの最新鋭マシン。まだまだ保守的な業界にはその性能と仕上がりに懐疑的な人が多いが、情熱的に普及啓もうを行っているとのこと。

株式会社 有我工業所 (ARIGA INDUSTRY CO.,LTD.)

### 事業内容

金属3Dプリンター受託造形出力サービス

金属焼付塗装、樹脂焼付塗装、

シルクスクリーン印刷、各種表面印刷

露光装置設計・製造、検査用光源装置設計・製造

各種装置メンテナンス及びエンジニアリング

### 所在地

〒174-0063 東京都板橋区前野町3-53-12

TEL: 03-3960-7141 FAX: 03-3967-2612

<http://kk-ariga.co.jp/>



# 9/23・24 獨協祭参加「第2回 私の趣味・逸品展」特集

広報委員 沖山 秀司（昭和49年卒）

9月23日・24日 天候に恵まれて獨協祭が開催されました。同窓会展示室の内容を紹介いたします。

- ① 第2回 私の趣味・逸品展（同窓会員の作品を展示しました。）
- ② 同窓会蔵書印を神山一郎氏から寄贈頂きました。
- ③ 硬式野球部は、全国高校野球選手権 東東京大会で史上初、5回戦に進出の大活躍！（目白だより・10ページ参照）
- ④ O B会展示（ドクターズクラブ、歯科医師獨協会、三師会、サッカーパー、卓球部）
- ⑤ 同窓会員が執筆・作成した書籍・音楽CDなどを頒布しました。



展示会場前に掲げたポスター

## ■ゼフィルス25(蝶の標本)

元教諭 岡田朝雄



「ゼフィルス」とは、日本各地の山林に生息する25種類のシジミチョウの総称です。愛好家にも非常に人気の高いグループです。このうちのミドリシジミ類は、オスとメスの色彩が全く違う特徴があります。

獨協出身の著名な写真家大倉舜二さんの名著『ゼフィルス24』（朝日新聞社）が出版された後で、「キタアカシジミ」（標本箱左下）が別種であると認められ、25種となりました。なかなか目に留まりにくい蝶なので、実物をよくご覧ください。



獨協学園にはドイツ語講師として1963年から64年までわずか1年間だけ勤めました。その後東洋大学に移り、2006年70歳で定年退職、名誉教授です。趣味はいろいろですが、蝶に関しては、疎開先の中学校のとき、採集・飼育に熱中し、都立高校の入試に失敗して浪人。

北園高校に入ってからは、文学、音楽、映画、登山、囲碁、将棋などに熱中しました。1981年40歳半ばを過ぎてから蝶の趣味が復活、収入のほとんどをこの趣味につぎ込みました。1991年、奥本大三郎氏らと「日本昆虫協会」を設立。副会長を務めましたが、

2015年3月、80歳で辞任、後任はやくみつる氏です。在任中、「開運なんでも鑑定団」の昆虫の鑑定士として出演することもあります。また、新部公亮氏と「どくとるマンボウ昆虫展」や「ヘルマン・ヘッセ昆虫展」を企画・制作し、日本の各都市や、ドイツに2か所、イスラエルに1か所あるヘルマン・ヘッセ記念館でも展示して好評でした。

## ■木額

昭和20年独5卒 神山一郎



良寛の漢詩訳「思えば私も七十以上になった、その人間の世の良いことも悪いことも飽きるほど見てきた。夜更けの雪に、往来する人の気配もかすか、あたりはひつそりと静まり返っている。古びた窓辺に一本の線香をくゆらせて自分は端座している。」



回首七十年余 人間是非飽看破  
従来迹幽深夜雪 一炷線香古窓前  
首を回らせば七十年余  
人間の是非飽くまで看破したり  
往来の後幽なかり深夜の雪  
一炷の線香古窓前



草庵寒夜作 良寛

「篆刻」  
ずい は ちくろう  
隨波逐浪。「大きい波や小さい波に逆らうことなく、身を任せて対応するようになれば、師が修行者に合わせて教化の手段を使い分けること。」

—碧巖錄—

## ■句碑を拓本に

昭和35年卒 金 有一

山歩きをしていると登山口や山道脇、山頂などに句碑や記念碑が建立されているのを目にすることがある。それらはその土地に所縁のある人の詩歌であり自然を賛美するものが多い。

碑が醸しだす雰囲気をそのままに持ち帰り書斎に飾りたい、そんな気持ちから拓本を始めた。

拓本は扁額や掛け軸に装丁し登山の思い出として残している。



拓本は凹凸のある石碑に紙を密着させ、上からタンポに含ませた墨を打ち、凹凸を写し取ることで、凹んだ部分が白く、凸部が黒く紙上に現れる。こうして拓影を得る仕方を湿拓といい一般的な方法である。

針ノ木雪渓手前の大沢小屋横の大きな岩にはめ込まれ長い間風雪に耐えてきた様相を呈した銅板には、北



アルプス登山に貢献した登山家百瀬慎太郎の“心の奥”の表現が刻まれ「山を想えば人恋し 人を想えば山恋し」とあった。今回展示した作品の一つはこの銅板を拓本に採り額装したものである。

他の一つは、獨協学園「小諸日新寮」の近くにある高峰高原車坂峠に通じる高峰林道（チェリーパークライン）の道路脇に建立された高浜虚子句碑の拓本である。「山国の蝶を荒らしと思はずや」とある。虚子は小諸に疎開していた当時、蝶の句を二句詠んでいる。他は「初蝶来何色と問ふ黄と答う」である。蝶については人一倍関心のある私は「山国の蝶」とは小諸の何処で何蝶を詠んだ句だろうかと思いを巡らしたものがあった。拓本にしたこの句碑は背丈ほどの大きさで、掛け軸として軸装したが天井まで届くほどの長さになってしまった。

## ■スイスの山景

昭和39年卒 大塚 正行

獨協中高を卒業し早53年、中学3年間、野球部に属し高校3年間、生物部、写真部、釣同好会、鉄道

研究会と今でも趣味の一部とし続けています。写真については、小学5年から始め、高校の時生物室の奥に暗室があり、白黒写真の現像や焼き増しした事が懐かしく思います。



今回、同期の柳原君から写真を出品してくれと言われたので、スイスの山特に有名なマッターホルン、メンヒ、ユングフラウ、モンテローザ、リスカムの4枚は天候に恵まれ美しく撮れ、反面7月末にもかかわらずシャモニーの町からロープウェイで行ったモンブラン展望台、エギューデミディは3842mの高度があり雪が降っていました。これからも山の写真を中心に旅をしたいと思います。

## ■潮来水郷十二橋巡り

昭和39年卒 渡邊 光幸

この作品は私が、昔油絵を描いていた時の絵で、潮来市の水郷で十二橋巡りをしていました時、先行する舟をカメラに収め、家で描いたものです。昨年も獨協祭に出品させて頂いた際、歯科医師会のパネルに弟が写っており、「私の弟です」と話すと「渡辺先生のお兄さんですか！」と盛り上がりしました。弟は川口市で歯科医院をしていますが、後日、絵をとりに行きましたが、同窓会の広報で同級生の柳原君と話をしていたら、同窓会名簿に行方不明となっていたので、直ぐに弟に電話して掲載してもらいました。また、今年5月には、初めての三師会（医師・歯科医師・薬剤師）が椿山荘にて開催され、100名が集まり盛り上りました。その時、東京薬科大学獨協会の数名と出会い、開催して欲しいとのことで、10月に開催する運びとなりました。

東京薬科大学へ進学された卒業生は是非ご連絡ください。

〒332-0012 川口市本町 2-3-15 電話 048-223-4163



仕事（ビル管理）で平日勤務するかたわら、昨年から土曜にラグビーも再開し、むしろ定年前よりも忙しい日々を送っています。

なお、幹事として昭和42年卒の有志と年5～6回懇親会を行っており、今年3月18日（土）にはOB全体の古希同窓会を椿山荘にて行いました。あれやこれやで獨協学園とは一生の縁となりそうです。

## ■鉄道写真

昭和49年卒 沖山 秀司

獨協中学3年の時、鉄道同好会として創部しました。デジタルカメラに移行し、また、仕事にも余裕が出来る年齢となり、鉄路への思いが再燃しています。仕事で担当している地の利を生かし、そしてSLが運行されている事もあり、新潟県を中心に撮影しています。



## ■人形のある部屋

昭和42年卒 野澤 正

本作品は朝日カルチャー（新宿）の水彩画クラスで描いたものです。朝日カルチャーには平成16年から月2回、日曜に通っており、モチーフは人物、静物（花、他）が交互となっています。小さい頃から画を描くのが好きで、獨協では中学・高校6年間、仁戸田（ニエダ）先生ご指導のもと、美術の時間が楽しみでした。

高校卒業以来、画からは離れていたのですが、平成10年、単身赴任先の宇都宮で病気入院した際、お見舞いでシクラメンの鉢植えを貰い、それを描いたことが画を再開するきっかけとなりました。平成17年からは会社の絵画クラブにも参加し、定年後は新しい



磐越西線 日出谷－鹿瀬 2017年5月21日

## ■ 「半世紀の模型歴の成果」

昭和53年卒 白石宏志

私の子どもの頃はプラモデルもミリタリーキットが主流で、キャラクターキットは今のガンプラとは比較にならない程粗末なものでした。最初はパーツを手でちぎってセメダインをべちょべちょにつけて接着して、塗装もいいかけんでした。中学生の頃からはニッパーでパーツを切り、小遣いで買える範囲で購入した塗料で作れる製品を買っていました。そして医学部受験で中断。医学生時代は中高生と変わらない朝から夕方までの講義の毎日、そして国家試験勉強で再び中断。研修医になって多忙な毎日。でも少しづつ購入資金を得ることができ、たまに時間が空くと道具や塗料・キットを買い揃えます。すると購入速度と製作速度のアンバランスが加速します。当然後者が圧倒的に遅いため通称「積み（罪？）プラ」が増えていきます。結婚して子供ができてまた中断。子供が大きくなって時間ができたと思った頃は中堅になってこれまた多忙。積みプラはどんどん増える。その後、別売の精巧なパーツ、金属製のエッチングパーツ（金属製でプラスチックでは再現できない精密な部品ができる）、真鍮



線、プラ板、プラ棒での改造方法を会得。これには模型誌のみならず最近ではインターネットの登場が大きいです。キットもかつてよりパーツ自体が精密になってきました。現在多忙な開業医ながら、様々な材料や工具、塗料などの「大人買い」ができるようになると日々の僅かな時間を利用し、だんだんと手が込んだものを作れるようになり、製作速度はさらに遅くなり、積みプラは増すばかり（もう400個は超えている）。そんな成果の展示です。とはいって私はそれほど上級者ではありませんが、ぜひご覧になってください。



会場風景 9月23日



会場風景 9月24日



2017年夏、硬式野球部の活躍（10ページ参照）



今年から参加した卓球部OB会



ドクターズクラブ、歯科医師獨協会



## 書籍・音楽CD紹介・頒布

音楽CD：Sparkle of Life 自作自演  
作 窪谷 健（産婦人科医・昭和53年卒）  
¥1,500



書籍：『おとうさん大丈夫？』  
『おとうさん大丈夫 おかあさんは？』  
東京慈恵会医科大学 名誉教授 永野 充 著  
(循環器内科・昭和20年独5卒)

本書2冊セットご希望の方には、  
送料をご負担いただき贈呈いたします。  
ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。



三師会（医師・歯科医師・薬剤師の連絡会）とサッカーデ部分



書籍：『天野貞祐』ミネルヴァ書房刊  
貝塚茂樹 著  
¥4,000 + 税



書籍：『五代五輪記』幻冬舎刊  
安斉 幸彦 氏（昭和51年卒）著  
¥1,200



## Topics

### 同窓会蔵書印をご寄贈いただきました

獨協祭2日目、9月24日（日）午後2時から同窓会展示会場において「獨協同窓会蔵書印」の贈呈式が行われました。この蔵書印は、同窓会監事の黒沼昭夫氏（昭和20年独5卒）の発案により、同窓同期で同窓会常任幹事の神山一郎氏がボランティアで制作してご寄贈いただきました。神山氏が医業の傍ら趣味として永年に亘り研鑽を積まれた知識と技の結晶。（5ページ参照）贈呈式では、まず、神山氏が、ついで浅野会長が押印し、会長から感謝の意が述べられました。これを機に同窓会会員の著作やその他の書籍を整理し「同窓会文庫」を創設することになりました。会員の皆様のご利用をお待ちしています。



# 目白だより

2017年 夏の甲子園・東東京予選会、淀縄哲之監督(昭和61年卒)率いる母校硬式野球部は、5回戦まで勝ち上がる大健闘。脈々とつづく獨協ガイスト(精神)と獨協の底力を監督が熱く語る。

## 獨協の底力

事務職員 野球部監督 淀縄哲之(昭和61年卒)

昔の運動部は練習中に水を飲むことは許されなかつたが今は違う。水ではなくスポーツドリンク。朝食に胡瓜やバナナを食べ、試合前にウイダーのゼリーを飲む。そしてプレー中には塩分チャージ用タブレットを数回食べる。それでも足がつってしまうので、危険を感じたら予防として漢方薬を飲む。更に、氷水で頭や顔を冷やしながら試合に挑むのである。もはや水どころの話ではない。極度の緊張も重なるため、炎天下の連戦は厳しい時代になっている。

今夏、昨年に引き続き選手たちは活躍した。7月20日(木)、創部以来初めて神宮球場での5回戦の日を迎えた。相手は二松学舎高校。そのまま優勝し甲子園に出場した。緊張からミスを重ね、結果は惨敗であったが、甲子園に出場するチーム、しかもエースピッチャーと対戦することができたことは貴重な経験となった。やはりベスト16は景色が違う気がする。

今年のチームは春から練習試合に負け続け、予選の直前の試合までまともに勝っていない。最後の大会はまさに背水の陣だった。選手たちは試合毎に成長した。ホームランやファインプレーでピンチを救った。背水の陣はたやすいものではない。よくぞ勝ち進んだものだと思う。この1年間、選手たちに求めるものは自力であった。安易に勝てるような練習試合はしなかった。彼らは自分自身と戦い続けた。七転びならぬ「五十転び五十一起」だった。「5回戦進出が目標」、自らそう謳ってみたものの選手たちにしてみればまさかの達成だったのかもしれない。それほど満身創痍だったのだ。

獨協生は今も昔も同じである。「君たちは可能性そのもの」。今回の結果は3年生だけでなく、今後の後輩達には大きな励みとなるに違いない。チームは毎年できるだけ3年生中心のメンバーを組むようにしている。全員が主役になって欲しいと願うからである。これも今も昔も変わらない。

昔から変わらぬものとして何よりも素晴らしいのはスタンドの応援団である。生徒・保護者・OB、そしてOBの保護者までが揃う獨協のスタンドは他のどの学校よりも秀でて暖かい。学校愛が深いのだと思う。これは人間教育を重視してきた伝統校の底力に違いない。二松学舎に大敗しても、「今年も面白かったよ。また来年も来るから。」と私を激励してくれるOBがどれだけたくさんいることか。毎年試合が終わった後の挨拶で私が言うこと、「また来年もこの場所で獨協の夏祭

りを皆でやりましょう。獨協のスタンドは最高です！」

時代は変わる。生徒も変わる。しかし獨協の温もりが変わることは無い。昔、神田先生が「俺が生きている間に甲子園に連れて行け。」といつも私に言っていた。「阪神タイガースの応援にでも行きましょうか」と返事して叱られた。「神田先生、やっと自力で神宮球場まで来ることができました」。「まだまだだ、バカヤロ！」。きっとまた叱ってくれると思う。

今年もたくさんのご声援をありがとうございました。心からお礼申し上げます。



試合前のノック（4回戦／大田スタジアム）



逆転に向けて指示（2回戦／駒沢球場）



試合直前の練習風景（5回戦／神宮球場）

## 昭和20年独5卒 芽城会

平成29年5月20日(土)新宿・小田急ハルク8階「楼外楼」で、我々は卒後72年・卒寿のクラス会を開いた。皆それぞれ数えまたは満で90歳を迎えた今、卒業時150人いたクラスメイトも現在連絡の取れる者はたった29名になってしまった。

しかし今回も13名もの出席があった。今回は何年振りかで永野允君の出席があり、さらに彼は自著二巻(9ページ参照)を出席者一人に二冊、計24冊も重いにもかかわらず手に提げての出席であった。その著書は一般向けに分かりやすく書かれた人間ドックについての話であり、一部に彼がドイツにいた頃の現地でしか解らないドイツ事情も紹介してあった。一般向けの書物であったが、私も興味深く読ませてもらった。

また他にも久しぶりに出席してくれた友に、細貝祐太郎君、米田武君がいた。彼等も元気で楽しいひと時を過ごすことができた。今回の出席者は平澤、永野、黒沼、細貝、畦森、鹿島、米田、佐藤、池田、鈴木、

馬場、牧、神山であった。来年は全員が満90歳になるので、さらに多くの諸君の出席を期待し、次の再会を約して散会となった。

(記:神山一郎)



## 昭和27年卒 花の27会

平成29年9月16日(土)午後1時30分より「花の27会」を神楽坂下「トリノ」で開いた。昨年にも逢った顔、数年ぶりに合わせる顔、青年時代を共に過ごした顔は懐かしい。出席者数は14名、席順に語

[→次ページに続く](#)

## 昭和34年卒 喜寿記念合同クラス会

平成29年10月15日(日)12時半から昭和34年卒の喜寿記念合同クラス会を霞ヶ関ビル35階・東海クラブで開催しました。

かつて同じ会場で、還暦記念合同クラス会をしましたが、今回は17年前より3割少ないながら49名の元気な顔ぶれがそろいました。

還暦後、毎年十余名の同級生が銀座にある獨協俱楽部に集って親交を深めてきましたが、東京スカイツリーの完成に合わせて、景色も楽しめるアサヒビール本社22階のイタリアンに拠点を移し、次の目標を喜寿記念会と定めて準備にかかりました。準備会は有我昭蔵君の提案により「絆の会」と命名され、春秋2回の雑談の中で「喜寿を迎えるまでは元気に過ごそう」を目標にして互いに励まし合ってまいりました。

喜寿記念会は、大澤悠里君のユーモア溢れた司会で始まり、有我昭蔵君の開会挨拶、矢沢恒治君による挨拶は「日本人の健康寿命72歳、77歳の私共は5年もオーバーしております、益々人生を謳歌いたしましょう」に同感！



久保弘一君が獨協同窓会長・浅野一氏からの祝電をご披露。ここで大澤君が同級生全員によるジャンケン大会を提案して、3度のジャンケンでその勝者には獨協大学発注のフランス産特選ワインが贈呈された。

次に日焼けで健康そのものの高橋眞太郎君により乾杯の発声があり、6つのテーブルには次々とフランス料理のコース料理が運ばれるのですが、各人の席は温まる事少なく、目まぐるしく他のテーブルの同級生の傍に移動して歓談に興じる場面が見受けられました。

沢辺瀧壺君は飯能市長在任中、大澤悠里君と同級であることで市民の評判が上がり多大な貢献を得たと語り、桑原邦紀君の音頭で校歌を高らかに合唱しました。中締めは元気のオーラが全身から発散する高橋龍二君が一本締めでくくり、最後に、この記念会の準備

と後始末を一手に担当してくれた功労者・原鎧一君の挨拶により、三年後は傘寿記念合同クラス会を目指すことを誓い合いました。

(記:赤松邦彦)



# クラス会だより

る5分間のスピーチに野次が飛んだり笑いが出たり話は尽きないが、やっぱり83～85歳になると健康談話に花が咲く。昨年の「27会」から今年の此の会までの間、仲間の訃報を聞かなかつたことは幸いであった。4時30分頃、次回幹事を朝比奈、岩田、太田の三君に託し来年もより多くの元気な顔に逢えることを祈り、朝比奈君リードの手拍子でお開きとなった。

(記：筒井昭)



## 昭和37年卒 独協37年会

過日6月6日に東京駅大丸の「ザ・東京フェニックス」で独協37年会の同窓会を14名参加で開催しました。3月6日ご逝去された小島晋司先生のご冥福を祈って、黙祷、献杯した後、先生の思い出話等で話が弾み、おいしい料理と酒に舌鼓を打ちながら楽しいひとときを過ごしました。

(記：佐藤篤信)



## 昭和39年卒 39会同期会

今年、第9回目を迎えた昭和39年（1964年）卒の同期会が、5月15日月曜日、懐かしの目白駅前のTRADビル内、リュドヴィンテージ目白で開催。幹事の大塚正行君、加藤知樹君、佐藤忠一君らの尽力で、初参加を含め約50名が集い、賑やか獨協談義で盛り上がった。また、本田稔祐先生、吉田卓司先生にもご参加いただきお元気な近況を伺い安堵した次第。加えて注目されたのは、やはり、若い女性による、弦楽四重奏団、ロールベルの演奏であった。MozartのEine kleine Nacht Musik やポップスメドレーなど傾聴、しばし品の良い和やかなひと時を味わった。次回は 2018年5月18日、金曜日、同会場で再会と約束、

校歌そして獨協の旗の下、恒例の全員の集合写真を撮り散会。なお、獨協同窓会からは、同会のメンバーである、副会長柳原が参加、進行役を務めた。

(記：柳原克忠)



## 昭和41年卒 古川38会 古希の会

平成29年7月2日 椿山荘にて古希の会を開催いたしました。参加者は28名で過去最高の数となり、横山武人先生のご挨拶ではスタートしました。大分体が弱り始めた方々も散見し、来年は28名の参加者は無理かもしれません。各自の挨拶には健康面の不安を訴える方も多く、さすがに70歳の年には勝てないかも知れません。それでも2次会を含め4時間を飲みっぱなしの豪傑もあり、来年の再会を誓い、最後は元気に解散いたしました。

(記：遠藤和男)



## 昭和42年卒 O B 会

9月25日（月）、今年4回目のOB会を市ヶ谷の中華「Rai」にて行ないました。本会は昭和42年卒同窓会の幹事団他、独語・英語クラス有志が集まって



## クラス会だより

いるもので、本年3月18日の古希同窓会以降加わったメンバーを含め、20名の出席がありました。

久しぶりの出席者もいたため各自近況を報告しましたが、話題は、体力の衰え、子弟の晩婚化、事業の後継者問題等、年齢を感じさせるものでした。

なお、今回、日ごろお世話になっている獨協学園同窓会にお返しをしようということで寄付を募り賛同を得ましたので、今後とも折りにふれご協力したいと思います。  
(記：野澤 正)

### 昭和47年卒 獨語クラス1組クラス会

40年来続けてきた仕事もそろそろ引退する者、2020年に向けて張り切る者、まだまだ現役で当直する先生まで幅広く出始めてきました。

かつては場当たり的に思い出したように行われたクラス会でしたが、2013年に還暦クラス会、2015年には獨協中学入学50周年クラス会を開催しました。

今年も写真のように目白駅周辺で実施し、来年からも毎年5月の第三土曜日（2018年5月19日）に目白周辺で行いたいと思っています。この日だけは新幹線で

上京できる現役医がいるので。

これまで主に獨語クラス中心でしたが一部聞き付いた（？）英語クラスの方々も参加もいただきました。残念ながらすでに物故者もおられるので、英語クラスの皆様も奮ってご参加下さい。47年卒ですよ？

ご希望の方は個人情報保護のため、同窓会事務局経由で、出席希望の有無、氏名、クラス、主管、メールアドレス等を大石、眞田宛にお送り下さい。

一応2017年末までとさせていただきますが、5月ですので来年でも結構です。事務局から情報が来たら、こちらから連絡させていただきます。皆さんよろしくお願いいたします。  
(幹事：大石、眞田)



### 昭和41年卒 古希の同窓会

獨協中学昭和35年入学・38年高校入学・41年高校卒業生・古稀の同窓会  
平成29年9月24日に椿山荘タワー棟8階コスモスの間

中学入学から57年、高校入学から54年、高校卒業してから51年と半世紀以上社会の荒波を超えて生き残った者たちの集いを開催しました。「己の欲せざるところ、人に施すこと無かれ」「艱難、汝を玉にす」などの天野先生の数多くの金言と学業と共に学び、卒業した同期生は471名でした。今回は中学1組・2組・3組と高校ドイツ語クラスの約200名対象で本日は44名の旧友が出席されました。2年前より各クラス会に連絡し賛同いただきました。

本日の主催幹事中村より主旨説明と来賓された横山武人先生、吉田卓司先生、糸井透先生、同窓会より柳原克忠副会長の紹介をさせていただきました。

今回は1組の河崎達彦君と高校ドイツ語の伊藤

新君が司会をしていただき、本日まで報告のあった物故者33名の黙祷をしてから代表挨拶菅谷健一君のあと乾杯を3組の中村直史君にお願いし各々歓談に入り、各クラスを越えたグループに話を咲かせておりました。又、今回特別に中学卒業の世界的チエロリスト菅野博文君と高校卒業精神科の医者の里村淳君伴奏（2018年6月の同窓会懇親会にて出演予定）で1、サン・サーンスの「白鳥」この曲は中学1年の文化祭で演奏した曲。2、フォールの「夢のあと」3、ショパンのノクターン第20番「遺作」の3曲を演奏いただき、アンコールの声もありましたが時間の都合で残念ながらその余韻の中閉会の時間となり、2組の相馬一亥君により中締めであつ

という間の時間が過ぎました。

参加いただいた旧担任の先生方と今後の我々の健勝を祈念して散会しました。喜寿の同窓会には会えますか？  
(記：中村昭美)



# クラス会だより

## 昭和 49 年卒 3組金先生クラス会

8月19日 今年は小諸に集合（昨年は館山、獨協学園海の家）。主管・金有一先生をお招きして、昭和49年卒3組、恒例の一泊クラス会が日新寮で行われました。冷房不要、山の雰囲気を満喫しながらの宴会、楽しい時間を過ごしました。（記：萩野元祐）



## 昭和 49 年卒 有志クラス会

平成28年11月12日（土）石井征次先生、山田直巳先生をお招きし、自白「揚子江」にてクラス会を開催しました。

両先生には主幹として鍛えられ、また国語（古文）をご教示頂き、そして、石井先生は自転車部、山田先生は鉄道同好会の顧問としても一生忘れることの出来ない思い出を沢山くださいました。

還暦を迎えるやつと時間を作れるようになり、卒業以来初めて会う仲間も集いました。（記：1組 沖山）



## 昭和 52 年卒 古糸会

40年目を迎えました。2月25日に小池食堂で21人が旧交を温めました。この1年で他界した岩崎桂治君を偲んでの献杯からはじまりました。恩師糸井先生は傘寿をお迎えになられ、中学からの卒業生の旧独生と高校時に入学した新独生と、40年ぶりに会に参加してくれた菊池博道君を交え、和やかな心温まる時間を共有できました。昔のクラスアルバムからのパワー・ポイントを見ながら、みんなの当時の学校生活の様々なエピソードが思い起こされ、「こんなに多様な

人材が成長して和と成したクラスはない」と恩師糸井先生もお喜びでした。各人が一人一人近況を語り、そこでまた新しい交流が生まれていました。全員が2次会に参加し、来年もお互いの幸福と元気で再会できる事を祈念して散会しました。前幹事の長谷川豊君、篠田晴夫君、クラス長の白木英之君らのクラスメートが構築していた丁寧な情報ネットワークと支えあいの心遣いが今回の会を成功させてくれました。

幹事は寺沢成浩君、塩瀬治から秋本憲一君、江島広人君になりました。（記：塩瀬）



## 昭和 53 年卒 獨協ハーフ会

去る9月2日（土）に恒例の獨協ハーフ会（昭和53年獨協高校卒業生有志の会）が上野精養軒3153店にて開催されましたのでご報告致します。当日は恩師富岡卓先生を囲みいつものように楽しく飲み語らいました。途中我々の卒業カード（自己分析の性格・志望大学・獨協6年間の感想などを卒業間際に自身で記入したもの）を富岡先生にご持参、ご披露いただき（カードの存在 자체記憶喪失でしたが）、一同約40年前の自身にタイムトリップし大変感慨深いものがありました。

来年もまた九月上旬をメドにお声掛け予定です。

同期の皆さん、我らもアラカンとなり今だに悩み多く（仕事・育児・子育て・親の介護・自身の健康問題などなど）いろいろな意味で大変な時期であるとは思いますが、3年後東京オリンピックもありますし、人生ハーフもう一踏ん張り頑張りましょう。

（記：西原由恭）



## クラス会だより

### 昭和 60 年卒 5 組クラス会

平成 29 年 7 月 8 日（土）に主管の田村先生をお招きし、2 年振りのクラス会を四ツ谷「嘉賓」で開催しました。

中には名古屋・宇都宮から駆けつけてくれたメンバーもいました。遠くからありがとうございました。我々はもう 51 歳なのですが、この集まりの時だけは高校生レベル（またはそれ以下）に戻ることができるなんとも不思議な楽しい集まりです。一次会後のジャズバー「いーぐる」でも終電間際まで騒ぎ続け、店員の方から注意を頂く始末となりました。元気なメンバーはその後もどこかへ消えていきました。

来年も田村先生をお迎えし、元気に集まりましょう。

（記：井手久雄）



### 平成 29 年 松本歯科大学獨協会

平成 29 年松本歯科大学獨協会を平成 29 年 9 月 9 日（土）に、昨年と同様に東新宿がんこお屋敷新宿山野愛子邸において開催いたしました。参加人数は 12 名でした。

まず、総会は真砂功会長（S47 年高校卒）開会挨拶のち、各種報告に入りました。最初に岡副会長（S49 高校卒）より、今年 5 月 20 日（土）開催の獨協三師会と、8 月 26 日（土）開催の歯科医師獨協会世話人会に関する報告があり、次に、本会の庶務会計報告を橋口（S53 年高校卒）が行ないました。最後に、会運営に関する検討事項の協議を行い、今年の総会を終了いたしました。

次に懇親会は真砂会長の乾杯のご発声で参加者一同乾杯し、懇談となりました。今年の参加者も昨年同様



50 歳オーバーで寡占状態ですが、参加者の気持ちや話す内容は 10 代中頃から 20 代の頃そのままで、車高？音？速さ？・・・等々、その他色々な話題で例年通り大いに盛り上がりました。

恒例の集合写真を 会場庭園内で撮影のち、今年の松本歯科大学獨協会はお開きとなりました。

尚、一部参加者の方々は、より多くの活力充電をはかるために、2 次会へと夜の街に流れていきました。

（記：昭和 53 年卒 橋口英生）

### 第1回 日大整形外科獨協会

獨協高校卒業者で、日本大学の整形外科医の会、「日大整形外科獨協会 第 1 回」が平成 29 年 9 月 2 日に開かれました。開催場所は獨協高校卒業され東京銀座で開店されている「鮓 池澤」で開かれました。特別ゲストに萩野元祐先生にも参加していただきました。とても穏やかで雰囲気のいいお店を貸し切らせていただき、美味しい食事・お酒をいただきながら、各々の思い出話に花を咲かせました。また萩野先生とお店の大将である池澤さんに話を盛り上げていただきました。再度、獨協卒業生であることを誇りに思い、とても楽しい時間を過ごしました。今回だけ日大整形外科獨協会を終わらせるこことないように、次回開催を約束し解散となりました。（写真左から清滝、大森、清水、池澤さん（大将）、萩野先生、澤田、相部、小野、柳澤、佐藤、宮下）

（幹事：澤田浩克）



### ラグビー部 OB 会

平成 29 年 2 月 25 日（土）ホテル椿山荘東京にて、獨協中学・高等学校ラグビー部 OB 会を開催いたしました。ラグビー部 OB 会として、OB が集う機会や組織がなく、初の試みであったにもかかわらず、総勢 100 名を超える OB の皆様にお集まりいただき、執り行うことができました。

顧問の磯部豊蔵先生の還暦を数年遅れで、OB 一同でお祝いし、また磯部先生からも、現在のラグビー部の近況を OB の皆様にお伝えいただきました。OB それぞれの近況報告や学生時代の活動の話、過去の部活動を振り返っての思い出話など、時間の流れを感じさせ

→ 次ページに続く

# クラス会だより

せないくらい楽しく充実した会となりました。

2018年は創部60周年ということで、2018年秋ごろにOB会開催を企画しております。残念ながら今回お越しいただけなかつた皆様、私の力が及ばずご案内の行き届かなかつた皆様にも是非ともお越しいただけますよう、先ずはこちらの会報にてご案内申し上げます。

(記：塩崎剛)



## 獨協ソフィア会のご案内

上智大学ソフィア会の戸川宏一会長（昭和34年卒）の肝いりで獨協ソフィア会を立ち上げました。獨協からは毎年10名前後の卒業生が上智大学に進学されています。

獨協を卒業されたソフィアンでネットワークを作り相互の親睦ならびに獨協学園と上智大学の発展に寄与したいと思います。

獨協ソフィア会に参加のご意向のある方は下記メールアドレスにご一報ください。

宮崎輝雄（昭和42年卒）

1972年上智大学法学部法律学科卒

t@japan-miyazaki.co.jp

## 平成30年 クラス会・同期会開催予定のお知らせ

卒 年	会合名	日 時	場 所	幹 事
● 昭和39年	39会同期会	5月18日(金) 13:00~	リュドヴィンテージ目白	大塚・加藤・柳原
● 昭和47年	獨語クラス1組クラス会	5月19日(土)	目白駅周辺	大石・眞田

## 私の近況

● 独協通信の物故者名簿で級友の桑島氏の死を知り友人が又一人この世から去りました。淋しい限りです。小生目下中野区民交響楽団に在り、年2回の定期コンサート・中野のZEROホールでのコンサートに参加して居ります。視力も弱り楽譜に少々苦労して居ますが、仲間から「希望の星!!」とか…。秋のコンサートのシベリウス第一番を目下特訓中です。椿山荘での会合の同期生は殆んどゼロ!! <小澤 武彦（昭14卒）>

● 90才になるまでは元気で毎日ウォーキングに努めていましたが、90才の坂を登りつめてからは身体のパーツが痛く、又歩行もきつくなつたため、専ら家中に閉じこもっています。度々獨協時代の事を思い出しますが、語り合う友人も皆鬼籍に入り淋しい次第です。陰ながら母校の発展を祈っている昨今です。過日「独協通信」に近況報告の拙文が掲載されたため旧勤務先電通の増山太郎さんより連絡が入り感謝しています。

<桜井保光（昭17卒）>

● 今年で93才になりますが、同期生や戦友達が殆んど亡くなりました。その分余生を頑張ってみたいと思います。

<山口勝（昭17卒）>

● ヒトラー・ユーゲントが来校した獨協全盛期に在校

(獨協全盛時代)、横浜西部に住んで居たので母校は遠くて、桐蔭学園で、弟の子弟は所沢で全員(信之・義之)は母校に、その子も獨協です。私の父は、大正9年卒で獨協でした。目白台の今後の発展を祈ります。私が送った昭和18年のアルバムは図書室にありますが少し体調がよくなつたので、ドクター・クラブに出席したいと思います。連絡して下さい。

<小関行徳（昭18卒）>

● 小生90才になって一か月が過ぎました。先日掛かりつけの医師を訪ねた時、きみは若々しくダンディーだね!といわれ、これからも健康に留意するよう気を新たにしました。今年もブリューゲル作“バベルの塔”的な特別展が色々な美術館であり、訪ねるのを楽しみに過ごしております。<平澤昭彦（昭20卒）>

● 神戸で平凡な年金生活を送っています。平成7年阪神大震災の翌年平成8年65才で42年勤務した社会生活を終え、家内の母が神戸で存命だったことから、神戸に移住、以来神戸の人となった。海と山に囲まれ食材の豊富な関西の味を楽しんでいる。定期的に?み会、会食をやって喋って脳の活性化を計っています。

<橘 藤（昭25卒）>

## 私の近況

●毎日曜日には近くの自治会事務所にて囲碁を楽しんでいます。 <白水 順三（昭26卒）>

●獨協を昭和28年に卒業して60年以上経ちました。12年前医師を辞めて年金生活を送っていましたら老健に誘われて施設長になりました。不思議な縁と申しますが、前施設長は獨協昭和18年卒（独）佐藤一郎先生で大学も同じ順天堂でした。80才過ぎましたが月5～6回ゴルフ場に行きプレイを楽しんでいます。

<渡辺 洋（昭28卒）>

●早や80才となりあと年数を重ねられるか分りませんが、10年前に脊椎看板ヘルニヤの手術をしたけれど5年位でボルトが1本ハズレ、最近では歩くのも辛くなっています。でも好奇心もあって古文書の研究に励んでいますが、特に目的もなく自己満足に過ぎております。同年輩もそれこそ「ポロリポロリ」と死んで行くのを聞くと、人事ならず思えております。今は同窓生とは没交渉となっておりますが、生きて居れば逢って見たい者が何人かはいます。皆さん余生を如何お暮らしでしょうか。どうか御自愛を！尚昨年末30年卒の鈴木仙十郎君は物故者名簿に表記されていません。 <丸山 幸三郎（昭30卒）>

●昭和34年卒の中山です。小生が生徒会長で実行した唯一の行事・都立井草高校・私立和光学園と3校親善大会～良かったな。我が校900のむくつけき男子全員が喜んでくれた～（ここがそれも泣いて～本命）何故“本命？”それは当時都内の全ての高校の中で、あのぶるまーではなくて本格的な短パンをはいたのは和光学園の女子だけであったから。行事を承諾した貞祐さんの英断は今でも忘れない！（ありがとうございました） <中山 政美（昭34卒）>

●体調不良の為参加出来そうにありません。幹事の皆様方のご苦労に感謝を申し上げ総会のご成功をお祈り致します。 <中村 貴是（昭34卒）>

●健康もすぐれず、今後の通信等のご案内を中止下さい。母校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

<山本 発雄（昭35卒）>

●親友が一人他界いたしました。お知らせ致します。昭和35年卒の四人組、獨四会のメンバーである高山学氏は2016年6月3日病で亡くなりました。残りました3名「大塚弘氏、安倍良次氏と私森 翼」は変わらず獨四会を守って行きます。「獨3会」にはしません。いつも同窓会のお仕事ありがとうございます。 <森 翼（昭35卒）>

●小島晋治先生が3月6日89歳でご逝去。在学中先生の“歴史”を学び更に“太平天国”的ご研究に触れて以来、歴史研究の世界に入り半世紀が過ぎた。未だ道半ば。年に一度は研究成果を伝え、ご助言を戴いた。古文書解読しながら先生のご恩有っての道と感謝している。 <益井 邦夫（昭37卒）>

●ボランティア精神で地区老人会々長、薬局での「く

すり相談」など結構忙しく過ごしていて、そのおかげで毎日元気でいられるのかな…と感謝の日々です。

<石山 賢一（昭38卒）>

●72才、何とか元気にやっています。盛会を祈ります。

<折田 正昭（昭39卒）>

●H29.2月で開業10周年。おん年68才、まだまだ頑張ります。 <田丸 操（昭42卒）>

●上智大学同窓会（ソフィア会）の会長に昭和32年卒の戸川宏一氏が就任されました。戸川会長を皆で盛り立てていきたいと思います。また、獨協ソフィア会を作りますので、上智大卒業生はご連絡ください。

<宮崎 輝雄（昭42卒）>

●定年を迎えた6年前に偶々売り出されていた中古住宅を購入し、休みの度に俄か田舎暮らしを楽しんでました。この度近隣住民との繋がりや環境の良さに惹かれ、転居しました。北に浅間山、南に八ヶ岳、西に蓼科山、東に茂来山が鎮座し、町のど真ん中を千曲川が貫流する牧歌的ロケーションです。佐久平から新幹線で70分で上野なので、週4日の勤務も前の家の管理を兼ねて、1泊2日を週2回くり返し通っています。まだ現役勤務です。 <千葉 実（昭45卒）>

●65歳。現在JR大宮駅で夜勤警備のバイト（2017年5月7日で26日勤務）しています。7月から資本論第1巻講座に挑戦します。 <青木 秀夫（昭45卒）>

●家族が安泰で仲良く働いているので安心です。

<矢野 元重（昭46卒）>

●S46年卒（1組ドイツ語）の特に親しくしている15名が奥さん同伴で横須賀の拙宅まで、遠くは仙台からかけつけてくれ、5月の新緑の中とても楽しい一時を過すことができました。獨協万歳です。

<石川英二（旧姓熊澤）（昭46卒）>

●3年前に当地にパン店を移転オープン！いそがしい毎日を送っています。 <渡邊 伸（昭47卒）>

●最近フォークギターを再びさわり始めました。クラスに上手い友人がいて私もやり始めましたが…。“五つの赤い風船”が今でも好きです。高校時代にタイムスリップしているようです。

<田原理一郎（昭48卒）>

●獨協中学・高校・医科大学・大学院と人生の3分の2以上を獨協でお世話になり、本年4月より獨協医科大学病院長として働くさせていただいております。獨協に感謝し、どう発展させ御恩返しできるかのみ考えて過ごしております。 <平田 幸一（昭48卒）>

●2017年度大学別合格者数を拝見して驚いております。これが我が母校かと。いっぽしの進学校になっている。ご指導にあたっている先生、後輩達のがんばりに拍手喝采!!入学するのが早過ぎた。

<吉崎 明彦（昭51卒）>

●同窓会常任幹事として広報を担当しています。「獨協ぶらり旅」で訪れたい同窓生のお店等の情報をお待

## 私の近況

ちしています。shigeo`yatagai.net

<谷田貝 茂雄（昭 51 卒）>

●製薬会社で薬剤師有資格者とされる総括製造販売責任者をしています。業界団体活動や各地の薬剤師会で講師としてもう少し活動して皆様のお役に立つよう努力してまいります。<千葉昌人（昭 51 卒）>

●少年野球のコーチを終え静かな休日を過すつもりが、息子（中学 2 年）が野球部にお世話になっており、全く同じ様な休日を過しています。チーム T シャツや応援帽子も自ら製作し、現在獨協中学野球部にドップリと浸かっています。<野村 芳樹（昭 54 卒）>

●独語クラスに入学したものの英語で大学を受験することを決心したのが高三の春！その後、電気通信大学を経て北海道大学医学部に進学して今日に至ります。この間の経験は後輩達にきっと参考になると思っていましたが、昨年、北大医学部に合格した後輩がいたことを知り、わが事のようにうれしかったです。獨協のご発展を祈念いたします。<瀬畠克之（昭 54 卒）>

●千歳烏山で内科クリニックを開業し、8 月で丸 3 年となりました。<杉浦 宏詩（昭 54 卒）>

●転勤先の浜松にて新たな使命をいただき、平成 27 年 5 月より浜松市議会議員として活動しております。

<丸 英之（昭 56 卒）>

●去年懇親会に化学部の先輩におさそいをうけて参加しました。その後、自宅で中学・高校時代の話をしていたら、二男（当時 5 年生・現 6 年生）が獨協に行きたいと言いだし、突然受験勉強をはじめました。どうなるかわかりませんがとりあえず？月～金は勉強、土日は少年野球をしています。親としてはがんばって同窓になってほしいと思う今日のこのごろです。

<村上 太三（昭 60 卒）>

●柔道部夏合宿（山梨県道志村）に 1 日だけ参加。山嶺にかこまれた美しい渓谷にある道場。萩野先生の素晴らしいご指導の下、現役部員と各世代の OB の方々が共に汗を流す。老体は悲鳴を上げるも、それはそれは至福の時間でした。<福澄 重泰（昭 61 卒）>

●この春、娘が獨協埼玉中学校に入学しました。親子で獨協生になるとは夢にも思いませんでしたが、これから約 6 年間が楽しみです。

<栗原 雅人（昭 63 卒）>

●4 月の異動で「両さん」のいる町の区民事務所にいます。これまでの総合庁舎整備の仕事からガラリと変わりました。入区 20 年目にして初窓口、初出先。覚えることがたくさんですが、レジ打ちなど新鮮な毎日です。<藤島一郎（平 7 卒）>

●88 号「私の近況」で書かせていただいた通り、現在 I B カリキュラムをベースにした学習プログラムに基づく英語専門学校 ENGLISH STUDIO に勤務しております。仕事の都合で総会に出席出来ませんが、次回を楽しみに致します。<鈴木 俊弘（平 9 卒）>

●元気で働いております。獨協でのマイペースで生きていく事が多分、頑張りすぎず、楽しく働いているようです。この度、キャノン MJ で「ourphoto」という企画を立ち上げ、プロのカメラマンが皆さんのお時間を、プロならではの技術で切り取るサービス（1 時間 ¥6480、データも渡してくれる）を立ち上げました。折々の記念の思い出を残すのに、ご利用下さい。（母よりの近況でした。）<檀原 聰（平 12 卒）>

●3 月に高校 3 年生を送り出し、4 月から中学 1 年生を相手に奮闘しています。獨協生活がなつかしいです。

<森 文彦（平 13 卒）>

●東京医科大学の消化器内科に所属し、充実した日々を過しています。内視鏡診断と治療の技術をさらに向上させたいと努力しています。

<村松 孝洋（平 19 卒）>

●大学、大学院と進みようやく社会人としてのスタートを切ることができました。これで晴れて獨協生の OB として胸を張り、社会に出ていけると思ううれしいです。<海野 龍生（平 23 卒）>

●元気で大学生活を送っています。

<中町 嘉啓（平 27 卒）>

●明治大学法学部に 2017 年度入学し、法学の勉強と共に明大祭実行委員として明大祭を盛り上げるべく、日々活動しております。大学生になって数ヶ月が経ち友人もできはじめ、充実した生活を歩んでおります。卒業してからも柔道部の OB として獨協に携わっていられるのはとても嬉しいです。

<大谷 洋人（平 29 卒）>

●この春卒業し、早稲田大学に進学しました。毎日講義と課題に明け暮れています。新参者ですがよろしくお願いいたします。<櫻井 陸（平 29 卒）>

●大学には獨協出身の先生もあり、とても心強く思いました。大学生活は勉強も大変になりましたが、先生、先輩方に恵まれ部活と両立し、充実した毎日を送っております。<宮澤 隆太（平 29 卒）>

●単身赴任先から父が戻り、毎週末に 2 人でキャッチボールをするようになりました。

<内田 洋都（平 29 卒）>

●現在早稲田大学先進理工学部電気情報生命工学科一年生です。大学生は勉強しなくてよいというのは真っ赤なうそであったことを痛感しつつも、大学での新しい交友関係やサークル活動を楽しんでいます。しかしやはり高校の友人というのは特別なようで、今から同窓会での再会が楽しみです。

<田中 駿悟（平 29 卒）>

●無事大学に入学し、日々課題やレポートに追われながらも順風満帆な学生生活を送っております。

<澤柳 亮（平 29 卒）>

## 寄付金納入者一覧（「88号」以降）

(敬称略)

中島 一 (昭和 12)	星野 紘 (昭和 37)	西原 潔 (昭和 46)	佐藤 学 (昭和 59)
唐木 清一 (昭和 20)	益井 邦夫 (昭和 37)	上田 善彦 (昭和 47)	佐塙 功一郎 (昭和 59)
神山 一郎 (昭和 20)	小泉 勝暉 (昭和 37)	山田 保馬 (昭和 47)	吉松 栄彦 (昭和 59)
永野 允 (昭和 20)	小坂 弘道 (昭和 37)	木原 正義 (昭和 47)	矢野 剛司 (昭和 62)
鹿島 正安 (昭和 20)	木村 満 (昭和 37)	林 清方 (昭和 48)	静間 和 (昭和 62)
齋伯 哲 (昭和 20)	宇都見 忠 (昭和 37)	平田 幸一 (昭和 48)	益子 泰雅 (昭和 62)
有竹 雅夫 (昭和 21)	田島 博山 (昭和 38)	秋元 雅之 (昭和 48)	玉井 道寧 (平成 04)
堀内 経夫 (昭和 21)	柳原 克忠 (昭和 39)	入野 満哉 (昭和 51)	森 藍裕 (平成 07)
栗原 忠聖 (昭和 23)	菅原 光明 (昭和 41)	吉野 英夫 (昭和 52)	物語 将太 (平成 14)
大場 莊介 (昭和 23)	白井 信男 (昭和 41)	鈴木 敏彦 (昭和 52)	近藤 圭太 (平成 20)
白水 順三 (昭和 26)	阿部 武 (昭和 41)	伊藤 英一 (昭和 52)	稲葉 由樹 (平成 23)
井上 猛 (昭和 26)	柄木 一夫 (昭和 41)	田中 良 (昭和 54)	中島 健太郎 (平成 25)
久米 實 (昭和 27)	浅野 一 (昭和 42)	野村 芳樹 (昭和 54)	森 弘帆 (平成 28)
桑嶋 陽一 (昭和 29)	田丸 操 (昭和 42)	高田 正道 (昭和 55)	唐神 一樹 (平成 29)
大澤 悠里 (昭和 34)	宮崎 輝雄 (昭和 42)	酒向 誠 (昭和 56)	久保 聰一 (平成 29)
長崎 雅彦 (昭和 34)	昭和42卒 獨協OB会有志	高田 正則 (昭和 56)	
鈴木 莊太郎 (昭和 35)	千葉 実 (昭和 45)	菅谷 敦人 (昭和 58)	

ご協力ありがとうございました。今後とも会費納入および財務拡充のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

## 物故者名簿（『独協通信』88号以降）ご冥福をお祈り申し上げます

卒業年	氏名	物故年月日	昭和 25 年	近江 正隆	2016/09/20	昭和 35 年	松島 正浩	2016/09/23
昭和 18 年	岡田知之助	2011/12/5	昭和 28 年	佐藤 明徳	2017/05/19	昭和 36 年	廣瀬 徹	2017/09/5
昭和 19 年	根本 泰宏	2017/04/03	昭和 29 年	山田 和郎	2015/2/3	昭和 37 年	寺田泰五郎	2016/6
昭和 20 年	桑原 和彦	2016/09/11	昭和 29 年	成田 実	2016/10/23	昭和 38 年	太田 博	2015/10/22
昭和 20 年	佐々波清夫	2017/03/13	昭和 30 年	望月小太郎	1994/1/6	昭和 38 年	森村 葵	2016/12
昭和 20 年	佐々波清夫	2017/03/13	昭和 30 年	鈴木仙十郎	2016/5/29	昭和 39 年	岡野 晴敏	2015/10
昭和 20 年	志茂 昌幸	2012/	昭和 30 年	油井 泰彦	2016/03/15	昭和 41 年	岸 和男	2016/08/21
昭和 20 年	安岡 昭男	2016/7/27	昭和 31 年	土川 猛	2017/04/08	昭和 47 年	能登 芳明	2015/11/26
昭和 21 年	柴田 久雄	2017/04/07	昭和 33 年	竹崎 昇介	2016/	昭和 60 年	藤繩 琢	2008/10/8
昭和 24 年	小出 一成	2017/2	昭和 35 年	高山 学	2016/06/03			

## 90号(平成30年5月中旬発行予定)へのご投稿をお待ちしています

### 内 容

- 「コラムドイツ」… ドイツ語圏での幅広い体験記（仕事・旅行・生活など 1200字程度・写真可）
- 「クラス会だより」・「クラブOB会」・「職域・地域会」などの報告（300字程度・写真可）
- 上記各会の次回開催告知（100字程度）
- その他「独協の思い出」（800字程度・写真可）「独協ぶらり旅」（300字程度・写真可）

### 締 切 平成 30 年 3 月 12 日（月）

- 郵送先 〒 112-0014 東京都文京区関口 3-8-1 獨協同窓会 広報 90 号 担当
- 送信先 info@dokkyo-mejiro.com

お問い合わせ 同窓会事務局（毎週 月・木曜日 13:00 ~ 16:30）

TEL 03-3946-6352 担当：鈴木・筒井

ご投稿いただいた文章への加筆・修正・一部削除などをさせていただく場合もあります。

なお、ご投稿文や集合写真などは、獨協同窓会ホームページにも掲載させていただきますので、予めご了承下さい。また、締切日を過ぎたご投稿分は掲載できない場合もありますので、併せてご了承下さい。

# 協賛広告募集のご案内

同窓会では、諸経費の軽減と財務体質改善の一助として、総会でご承認頂いた「独協通信」紙面上の協賛有料スペースへの広告掲載を開始いたします。(下段参照)会員の皆様から、個人名又は法人名での広告掲載を受け付けています。ご希望の方は、同窓会事務局にお問い合わせご相談ください。「広告掲載取扱い規定」により対応いたします。なお、次号掲載は、「独協通信」90号で、平成30年5月中旬発行を予定しています

ので広告原稿・版下の入稿締切は、3月中旬となります。また、ご参考に、①発行部数約11,000部、年2回、5月・12月発行②掲載料金 大枠が4万円、小枠が2万円③通常5月号、12月号各1回のみの掲載ですが、同じ内容で年間2回連続掲載も可能ですのでご相談ください。④広告内容は、「独協同窓会」のホームページにも掲出されますので、紙面以上の効果も期待できます。

## SASAKI LAW OFFICE 佐々木綜合法律事務所

東京都千代田区神田須田町1丁目26番 芝信神田ビル10階

TEL 03-3255-0091 FAX 03-3255-0094

相続・不動産・企業法務など  
さまざまなお悩みを承っております。



東京弁護士会所属  
弁護士 佐々木 広行(昭和61年卒)  
〔平成28年度 東京弁護士会副会長〕



アルプスを眺めながらの露天風呂と本格懐石  
スイス 料理温泉旅館 「兎山」  
USAGIYAMA

総支配人 倉林 正文(昭和53年卒)

所在地: Hasenbergstrasse 74, 8967 Widen, スイス  
電話: +41 56 648 40 00 <http://www.hotel-hasenberg.ch/>



## 獨協学園サッカーチームOB会

期間を問わず会員の方々からのお連絡をお待ちします

毎年6月に学習院OBとの定期戦を継続しています

h-okiyan@fk9.so-net.ne.jp 沖山秀司(昭和49年卒)



## 医療法人社団 野村会 昭和の杜病院

東京都昭島市宮沢町522-2

理事長 野村芳樹(昭和54年卒)

医療療養型 177床・透析ベッド30床  
入院(一般内科・透析)・外来透析随時ご相談ください

TEL 042-500-2611 FAX 042-500-2612

## ホテル椿山荘東京

お食事会、同窓会などのお集まりには  
さながら森のような庭園に佇むホテル椿山荘東京を  
どうぞご利用ください

お問い合わせ 03-3943-1171(販売課 担当:林)

## 鉄道研究会OB会

期間を問わず会員の方々からのお連絡をお待ちします  
昭和45年 山田直巳先生に顧問をお願いし創部しました  
2018年春 OB総会の開催を目指します

h-okiyan@fk9.so-net.ne.jp 沖山秀司(昭和49年卒)

## 編 隆 記

平成29年度の総会は浅野一會長の最後の会となつた。6年間、会長職を務め上げて下さったことに敬意と感謝を述べたい。主に、財務体質の改善努力と会則整備、そして同窓会会員相互の交流のため様々な取り組みなどに尽力された功績は大きい。総会での挨拶を改めて読み返してみる。

さて、今号で初めての試みとして紙面上に、協賛として会員各位からの広告を6件掲載した。約2年に亘る協議と今総会でのご承認の結果である。言うまでもなく、今後の同窓会会報の経費負担の一助になればとの狙いであり、多方面での会員諸氏からのご理解・ご協力を得て、広告出稿が増えていけばと願う次第です。もう一つ「初めて」の嬉しいことが、母校硬式野球部が今夏の甲子園をめざしての東京予選会で神宮球場での5回戦に進出したこと。是非、10ページをご熟読いただければ監督の語る「若い独協」と「伝統ある独協ガスト」を得・納得!

できるはず。また、独協祭での会員自作の趣味・逸品の出来栄えには驚かされる。社会人として活躍中に、これだけの力のこもった作品を創りだすエネルギーたるや素晴らしい。そして、ますます盛り上がる「クラス会だより」、「私の近況」の投稿が増えており、来年号も楽しみである。受け売りウンチクを一つ、その来年は、戌歳、2018年は戊戌(つちのえいぬ)で頤わす運気は比和、意味は同じ気が重なるとその気が盛んになるということで、結果が良い場合には、更に良くなり、悪いと更に悪くなるという。戌は植物の絶頂期を頤わし、戌は逆に草木が枯れ行く様、通じて前年に燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新たに芽生えた意味や価値がグンと成長することを示している~とのこと。つまり、前向きな地道な努力を重ねることが出来るかどうかで、2018年で大きく運気が変わってしまうらしいです。とにかく、皆様どうぞ良いお年をお迎えください。(克記)